

予算決算委員会 総務市民分科会 会議録

日 時 令和3年9月16日（木曜日）

午前10時32分開会 午前10時44分閉会

場 所 第1委員会室

日 程

1 開 会

2 委員長挨拶

3 協議事項

(1) 議案の審査

議案第53号 令和3年度土浦市一般会計補正予算（第7回）～
第1表歳入歳出予算補正歳出中第2款（総務費）

4 その他

5 閉 会

出席委員（8名）

委員長 今野 貴子

副委員長 吉田 博史

委 員 久松 猛

委 員 吉田 千鶴子

委 員 海老原 一郎

委 員 柴原 伊一郎

委 員 篠塚 昌毅

委 員 島岡 宏明

説明のため出席した者（3名）

市長公室長 川村 正明

政策企画課長 佐々木 啓

財政課長 山口 正通

事務局職員出席者

主 任 津久井 麻美子

傍聴者（1名）

男 1名

○**今野委員長** ただ今から、予算決算委員会総務市民分科会を開催いたします。それでは、付託された議案の審査に入ります。議案第53号令和3年度土浦市一般会計補正予算（第7回）第1表歳入歳出予算補正歳出中第2款（総務費）を議題といたします。サイドブックスは、総務市民委員会フォルダ、令和3年、9月16日開催フォルダの中の資料5をお開きください。はじめに、第2款総務費、第1項総務管理費、第10目事務管理費について、執行部より説明を願います。

○**佐々木政策企画課長** マイキーID設定支援事業につきまして、御説明いたします。マイキーID設定支援事業につきましては、昨年度から、国におきまして、マイナンバーカードの普及促進を目的といたしまして、マイナンバーカードを取得し、マイキーIDを設定した方々を対象として、選択したキャッシュレス決済サービスで買物に使えるポイントを付与する、マイナポイント事業を進めているところでございます。この国の方針を受けまして、本市におきましても、国の10分の10の補助金を活用して、昨年の7月から、会計年度任用職員を雇い、本庁舎1階スペースに、マイキーID設定支援窓口を設けて、対応しているところでございます。資料の1の補正の理由を御覧いただきまして、今回の補正につきましては、このマイナポイント事業の受付期間が、現状の9月末から12月末まで、3か月間延長されることとなりましたことから、本市のマイキーID設定支援窓口についても12月末まで対応できるよう、3か月分の会計年度任用職員の人件費を計上させていただくものでございます。2の補正予算額を御覧いただきまして、まず箱の下段、歳出につきましては、延長となる10月1日から12月末までの3か月間分の会計年度任用職員3名の報酬、保険料など199万8,000円の計上でございまして、上の箱、歳入を御覧いただきまして、歳入につきましては、全額、国のマイナポイント事業費補助金を活用いたしたいというものでございます。説明につきましては、以上となります。よろしく願いいたします。

○**今野委員長** ただ今の説明について、何か御質問はございますか。

（「なし」という声あり）

○**今野委員長** 次に、第23目財政調整基金費について、説明を願います。

○**山口財政課長** 財政調整基金への積立てについて、御説明いたします。1番の今回の補正の理由でございしますが、決算上の剰余金につきましては、地方財政法の規定によりまして、2分の1以上の金額を積立て、または繰上償還しなければならないとされているところでございます。このようなことからですね、新型コロナウイルス感染症の影響による、今後の財政不足にも対応できるよう、今回は、実質収支の2分の1を財政調整基金へ積み立てるものでございます。積立金額につきましては、2番の補正予算額を御覧いただきたいと思えます。表の下の算定式にもございますように、令和2年度の歳入から歳出を差し引いた形式収支、18億989万4,000円から、令和3年度に繰り越した歳出予算に充当すべき金額、5億1,582万5,000円を差し引きました実質収支の額は、12億9,406万9,000円となっております。この実質収支の2分の1の6億4,703万5,000円を、財政調整基金に積立てるものでございます。なお、その上の表にもございますように、当初予算に1,000円を計上しており

ますので、今回の補正金額は、6億4,703万4,000円となるものでございます。その下にですね、参考といたしまして、令和3年度の財政調整基金の予算上の推移を記載させていただいております。当初予算で1,000円を科目計上すると共に、財源不足を補うために、4億円の繰入れを計上。今回の補正では、実質収支の2分の1の6億4,703万4,000円を積立てる一方で、このほかの事業の補正予算の財源として、2,161万9,000円を繰り入れる予定でございます。財政調整基金全体の金額につきましては、3番を御覧いただきたいと思います。現在額は、当初予算の歳入歳出を加味した金額でございまして、今回の定例会において積立て、取崩しを行った後の合計金額は、68億4,265万7,000円となるものでございます。説明は以上でございます。よろしく願いいたします。

○今野委員長 ただ今の説明について、何か御質問はございますか。

○吉田（博）副委員長 大事な財政調整基金の話なんですけど、結果的に今年度6億の積立てをしたけれども、前回の議会の時にも4億繰り入れているよね。トータルで6億からの繰越しを財政調整基金に積んだけれども、結果的に4億の持出しで使ってしまうと。これは、今後ともこういう形というのは続くかな。2030年代には、財政調整基金が枯渇するというようなそういうシミュレーションがあるからさ、大変不安なんだけれども。半分は積んだけれども、そのうちの4億くらいは使ってしまったと。こういうやりくりは、続くのかな。財政課長、どうだろう。

○山口財政課長 今、吉田（博）委員の方からお話がありましたように、参考の欄の方に記載させていただいておりますけれども、令和3年度は、4億取り崩しまして、今回6億積んで、令和3年度上は、2億2,500万円ほどプラスにはなっていますけれども、今後ですね、コロナ対策で補正予算を組むとなりますと、この財政調整基金を取り崩さざるを得ないということになろうかと思っております。今年度につきましても、9月に2分の1をきちんと厳格に積むというやり方をしておりますので、その後の財源不足は、やはり、財政調整基金の方で、やりくりせざるを得ないというのが実情だと思っております。以上です。

○吉田（博）副委員長 来るべき時のために、財政調整基金というのは、やっぱり毎年増やしていけないといけないのかなと思うんだよね。ただ、そういう傾向が、これを見ると厳しいなというのががあるから、財政的にその辺はさ。やっぱり頼りになるのは、いざという時の財政調整基金だから。少しずつでも増やしていくというような、そういう政策というか、対応をとって欲しいなと思ひましてね。いかがでしょう。

○山口財政課長 今年度がどうしても財源不足に陥ってしまったということで、当初予算から既に財政調整基金を取り崩さざるを得ないということで、予算の方は組ませていただきました。今後ですね、コロナの感染状況にもよりますけれども、積める時には積んではおきたいなと財政課としては思っております。ただ、財源不足に対応するには、やはり財政調整基金を取崩していくというのは、ある程度は続いていくのかなと思っております。以上です。

○今野委員長 ほかに何か御質問はございませんか。

(「なし」という声あり)

○**今野委員長** それでは、総務市民分科会としての賛否を確認いたします。この補正予算について、原案どおり賛成とする方は、挙手を願います。

(全員挙手)

○**今野委員長** 全員賛成でございました。以上で、予算決算委員会総務市民分科会を閉会いたします。